

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 小山市警察署庁舎増築工事に伴う地質調査 孔番 No. 1 地盤高 m

調査場所 小山市若木町地内 (基準面)

地 形 摘要

調査期間 昭和 57 年 7 月 日 ~ 7 月 日

地下(孔内)水位 -5.75 M 調査担当者

標地下水 高位置 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質 記号	土質	土 性		備 考	(註) 試 料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験				
					色調	相対 密度		番号	記号	採取深度 (m)		打 撃 回 数				
												10	20	30	40	50
	0.40	0.40		益 土	暗灰	非常 に密	アスファルト舗装 に植物混入 下部ロームを混 入する				1.15	2				
	1.60	1.20		表 土	灰	非常 に密					1.45	2				
	2.10	0.50		ローム	茶褐	〃	含水あり				2.15	1				
	2.50	0.40		浮石混りローム	茶褐	〃	含水あり				2.45	1				
	3.80	1.30		シルト	灰	〃	下部粘土を混 入し粘性あり				3.15	1				
	4.90	1.10		粘土	灰	〃	粘性あり 所々茶褐色 を呈す				3.45	1				
	5.60	0.70		砂 礫	茶褐 灰	中位	20%内外の礫 を介在する				自沈	35				
	6.70	1.10		礫混り砂	茶褐 灰	〃	含水あり 10%~20%の 礫介在				5.15	28				
	8.10	1.40		砂 礫	茶褐 灰	〃	含水あり 20%~30%の 礫を介在する				5.45	28				
	9.90	1.80		礫混り砂	茶褐 灰	〃	含水あり 最大礫径30% の礫介在				6.15	21				
	10.80	0.90		砂	灰	〃	含水多い 粒径均質				6.45	21				
	11.25	0.45		シルト	茶灰	非常 に密	固結している				7.15	30				
	12.45	1.20		砂質シルト	茶灰	特別 に密	固結状を呈す 下部砂を多く 含む				7.45	30				
	13.85	1.40		砂	暗灰	非常 に密	魚貝の化石 混入する				8.15	23				
	16.80	2.95		砂 礫	暗 灰	〃	上部20%~ 30%の礫介 在する 下部10%~ 20%の礫介 在する				8.45	23				
	17.45	0.65		砂	暗灰	中位	含水あり				9.15	19				

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

站 房

道 路

国道4号線

道 路

